

## 「大牟田市小中一貫教育基本方針（案）」に対するパブリックコメントの実施結果

大牟田市教育委員会では、市内全小中学校に小中一貫教育制度を導入するため、「大牟田市小中一貫教育基本方針（案）」を作成し、市民意見の募集を行いました。その結果については、以下のとおりです。

### 1 パブリックコメントの実施概要

#### (1) 意見募集期間

令和3年11月1日（月曜日）～令和3年11月24日（水曜日）

#### (2) 基本方針（案）の閲覧場所

学校教育課、情報公開センター、各地区公民館（7カ所）、えるる、図書館、及び市のホームページに掲載

#### (3) 意見提出方法

閲覧場所へ持参・投函、郵送、FAX、電子メール

#### (4) 意見の提出状況

28名から28件の意見がありました。

意見の内訳は以下のとおりとなります。

- ・「概ね賛成または支持する意見」 17件（61%）
- ・「反対または制度導入に対する疑問の意見」 4件（14%）
- ・「その他の意見」 7件（25%）

### 2 提出された意見に対する教育委員会の考え方

主な意見	教育委員会の考え方
(1) 概ね賛成または支持する意見 ①まちづくりに関するもの ・教育先進都市としての魅力が高まる。 ・教育水準向上により、まちの活性化につながる。	・まちづくりにおいて、教育は重要な一つの要素であると考えます。 小中一貫教育の推進により、ESD等、各学校の特色化を進め、大牟田の教育の充実を図ります。 また、コミュニティ・スクールによる学校運営協議会を設置し、学校の取組に関し、保護者や地域、関係団体等による協議や評価を行い、学校教育の質の向上を図ります。

主な意見	教育委員会の考え方
<p>② 学力向上に関するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力が向上する。</li> <li>・9年間を通した指導による子供一人一人に応じた教育が期待できる。</li> </ul> <p>③ 不登校の解消に関するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中一ギャップや不登校の解消につながるのではないか。</li> <li>・9年間を通した学校生活により、先輩後輩としてのつながりが強くなり、自分の将来像を描きやすくなるのではないか。</li> </ul> <p>(2) 反対または制度導入に対する疑問の意見</p> <p>① 制度導入に関するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や市民が基本方針(案)を知り理解しているのか疑問。</li> <li>・制度に取り組む根拠がよくわからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上については、文部科学省が公表している「小中一貫教育の導入状況調査」において、6割以上の学校が、「全国学力・学習状況調査の結果が向上した」、「都道府県又は市町村独自の学力調査の結果が向上した」と回答しています。小中一貫教育に取り組むことで、9年間を見通した系統性・連続性のある指導ができ、学力の向上が期待できると考えます。 また、教職員の協働により「特別な支援を要する児童生徒へのきめ細かな指導が充実した」と回答する学校が8割を超えている調査結果もあります。子ども一人ひとりに応じた教育の効果も期待できると考えます。</li> <li>・文部科学省の「小中一貫教育の導入状況調査」において、不登校の解消については、6割の学校が、中一ギャップの緩和については、9割の学校が「大きな成果が認められる」または「成果が認められる」と回答しています。 また、「上級生に対する憧れの気持ちが強まった」と回答する学校が9割を超えています。 小中学校間の交流が増え、異年齢集団による人間関係の醸成が図られると考えます。</li> <li>・基本方針(案)の周知につきましては、全市立小・中・特別支援学校の保護者や地域の皆様に対し、市内全小・中・特別支援学校や校区まちづくり協議会、各地区公民館、市のホームページ等を通して、制度の導入についてのチラシ(制度の概要版)を配布し、周知を図りました。 また、1月11日～1月20日には、市内全ての中学校区を対象とした地域説明会を実施し、地域の皆様方からさらに理解を得られるよう努めました。 新型コロナウイルス感染症の拡大により4中学校区は、令和4年5月24日～6月2日に延期し、実施しました。</li> </ul>

主な意見	教育委員会の考え方
<p>② 児童生徒への影響に関するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9年間環境が変わらないことによる刺激の減少、いじめ等の問題が継続するのではないか。</li> </ul> <p>(3) その他の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少人数学級の方が、より良い教育の実現には効果的ではないか。</li> <li>・ 一体型の義務教育学校を導入してほしい。</li> <li>・ 先生方の意見も聞いてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 制度に取り組む根拠は、本市が課題とする「学力の向上」や「中1ギャップ」の解決のためです。 文部科学省の「小中一貫教育の導入状況調査」結果や小中一貫教育研究発表会及び先進校視察等から、制度導入が本市の課題解決につながるものと考えます。</li> <li>・ 小規模校の場合は、クラス替えができずに、人間関係が固定化されることも考えられますが、大牟田市の場合、今後の学校再編により市内各市立中学校は、適正な規模の学校となり、学年に複数の学級が配置されるようになり、クラス替えも実施されます。 また、小学校及び中学校では、節目となる学校行事は、これまでどおり実施されることから、様々な児童生徒の状況に応じた指導ができるものと思われまます。 さらに、各中学校区にスクールソーシャルワーカーを配置することにより、問題を抱える児童生徒や家庭に対して、各学校が連携し、継続的に支援してまいります。</li> <li>・ 少人数学級については、本市では、すでに、他市町村に先駆け、全小学校において35人以下学級編制としており、少人数によるきめ細かな学習を進めています。 また、中学校については、学校の実態に応じて、35人以下学級編制としています。さらに、小中学校において、習熟度別指導や少人数指導が実施できるよう非常勤講師を派遣しています。</li> <li>・ 一体型の義務教育学校の導入については、過去、地域からそれを望む声が寄せられた経過があります。将来的に、地域の状況によっては、小中学校を一体的に運営したほうが、よりよいと考えられる場合も想定されます。</li> </ul>

主な意見	教育委員会の考え方
	<p>市としては、次期計画の中で、小学校の再編について検討委員会を設置することとしており、その中で、小中一貫教育制度の成果と課題について検証を行う予定です。義務教育学校についても、その中で、検討する予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先生方の意見については、モデル校区の宮原中学校区の小中学校全教職員を対象とした小中一貫教育研修会を実施しました。アンケート調査や協議を行い、教職員の意見も踏まえた上で、基本方針（案）を作成しています。</li> </ul>